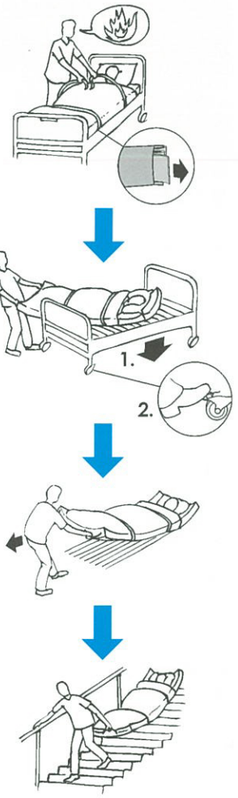
care of sweden
SUPPORTING LIFE
スウェーデン・ケア オブ スウェーデン社製

Optimal Evacuation Sheet

避難搬送用シート
オプティマルエバックシート

最少人数で素早く避難できます。

- オプティマルエバックシートは、可能な限り素早くかつシンプルにベッド上で臥位の人を避難させることができます。
- 平時よりマットレスとベッドの間に敷いておきます。
- 緊急時はシートの伸縮性のあるベルクロ付きストラップで掛布団ごと固定します。(1)
- シートは人間工学に基づいてデザインされており、避難時の搬送者の手への負担が少ないハンドルを採用しています。
- 濡れていたり乾燥している避難路でも、問題なくシートを滑らして避難できます。
- X線透過性ですので、撮影時にも併用できます。
- マットレスごとベッド（最低床の高さ）から降ろすためのハンドルが長辺サイドに付いています。
- 避難時には短辺サイドに付いているハンドルで引きます。
- 角４か所にはマットレスに固定するためのゴム製ストラップが付いています。



< スペック表 >

素　材	ポリアミド、ポリエステル
難燃基準	EN597 - 1、－2
保証期間	購入日より２年
手 入 れ	アルコール清拭
洗濯・乾燥	液温は95℃まで・タンブル乾燥可

※製品の色はカタログの色と多少異なる場合があります。
※本製品は予告なく仕様を変更する場合があります。
※本製品に関するお問い合わせは、販売店もしくはシーマン株式会社までご連絡ください。

Optimal Evacuation Sheet

こちらから取説動画をご覧いただけます。

品　名	オプティマルエバックシート	
型　番	10-080191	10-090200
サ イ ズ	80 cm × 191 cm	90 cm × 200 cm

発売元
信頼をかたちに
シーマン株式会社
http://www.sheen-man.co.jp
本　社　大阪市北区東天満1丁目12番10号　〒530-0044
TEL (06) 6354-7702　FAX (06) 6354-7114
東京支店　TEL (03) 5207-3521　FAX (03) 5207-3522
九州支店　TEL (092) 283-7400　FAX (092) 283-7401
名古屋営業所　TEL (052) 218-7337　FAX (052) 218-7338

輸入元
スーガン株式会社
大阪市北区東天満1-12-10　〒530-0044
第一種医療機器製造販売業

JDA.19.11.1000.12.3.COS-C

care of sweden
SUPPORTING LIFE
スウェーデン・ケア オブ スウェーデン社製

避難搬送用シート

Optimal Evacuation Sheet

For quick & simple evacuation

オプティマルエバックシート

素早くかつシンプルな避難活動を支援します。

WITH PUBLIC CONFIDENCE
SHEEN MAN®
CO.,LTD.

避難搬送用シート

Optimal Evacuation Sheet

For quick & simple evacuation

オプティマルエバックシート

Point 安全にご使用いただくためのポイント

準 備 Preparation

被介助者に声がけをします。

ベッドベースの高さを床から40㎝以下に下げます。マットレスはウレタンフォームで10㎝の厚さを推奨します。

ベルクロストラップはしっかり固定します。被介助者の両腕が布団の中に収まっている事を確認します。

足側左右 2 か所のハンドルを握ります。

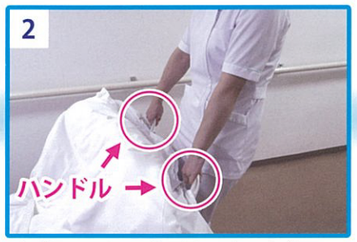
搬送者は腕を体幹に付け、自分の体重を使ってマットレスの足側を持ち上げます。

足側よりマットレスを床に下ろします。

躊躇せずマットレスをゆっくりと床に引き下ろします。

平面搬送 Flat Transport

搬送者は腕を体幹に付け、重心をやや後ろにかけて引きます。



オプティマルエバックシートの左右のハンドルを握ります。

マットレスの足側が搬送者の腰の高さ程度になるよう引きます。

階 段 Stairs

被介助者の腰部辺りが1段目の階段にかかるまでは、搬送者は後ろ向きかつ両手で引きます。

被介助者の腰部辺りまで階段を下りたら、搬送者は前向きになります。

搬送者は片手で階段の手すりをしっかり持ち、片手はハンドル3か所の内の真ん中を握ります。

搬送者の腰部でマットレスと被介助者の重さを支えながら、一段ごとしっかり階段を下ります。

踊り場に到達する2～3段前より、踊り場の転回方向に向かって搬送者の体を向けて下ります。

次の階段に差し掛かったら搬送者は後ろ向きになり、左右のハンドルを握って引きます。

撮影協力：神戸医療生活協同組合 神戸協同病院 様